

科目区分	専門教育科目	科目名	領域「言葉」の指導法		科目コード	20Y430	担当者	船勢 肇			
対象学生	幼児教育学科 1年生	学期区分	後期		単位数	2	担当形態	単独			
		授業区分	演習								
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	必修				
領域及び保育内容の指導法に関する科目		保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）				免許・資格要件	幼稚園教諭選択必修、保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
子どものことばの獲得方法、発達、およびそのための援助の仕方について学習する。						1. 「 良心 」 誠実な人柄と 人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と 創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠 実性・ 真摯性	② 多 様性・ 協働性	③ 知 識・ 技能	④ 思 現考力 力・ 創判 造断力	⑤ 実 主体力 性・ 自立 性	⑥ 就 業力・ 貢 献力
1.	領域「言葉」の内容を理解する。										
2.	子どもの言葉の発達を理解する。										
3.	言葉の発達を促す保育環境の重要性を理解する。										
4.	言葉の発達を促す援助について考察する。					○	◎	◎	◎	○	○
5.											
授業方法						成績評価の方法と割合					
前半は講義、後半は演習を行う。演習においては講義の内容を踏まえ、各自が保育実践に臨む。						提出物（40%） 発表内容（60%）					
課題等への対応						授業外学修時間					
授業後に質問する機会を設ける。また、授業中においても演習へのフォローを行う。						週あたり90分					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	授業説明、言葉とは何か					前期の講義の見直し					
第2回	領域「言葉」と保育の実際 1					教科書 第5章を読んでおく 乳児の表現を考える					
第3回	領域「言葉」と保育の実際 2					教科書 第5章の内容を理解する 言葉と楽しさを考える					
第4回	領域「言葉」と実践上の留意点 1					教科書 第6章を読んでおく 話す意味を考える					
第5回	領域「言葉」と実践上の留意点 2					教科書 第6章の内容を理解する 聞く意味を考える					
第6回	領域「言葉」と保育の総合性 1					教科書 第7章を読んでおく 劇的表現を学ぶ					
第7回	領域「言葉」と保育の総合性 2					教科書 第7章の内容を理解する ごっこ遊びと劇的表現を考える					
第8回	模擬保育の実践①					保育を実践する					
第9回	模擬保育の実践②					保育を実践する					
第10回	模擬保育の実践③					保育を実践する					
第11回	模擬保育の実践④					保育を実践する					
第12回	模擬保育の実践⑤					保育を実践する					
第13回	実習・就職に向けて 1					実習・就職までの過程を詳しく知り、課題を明らかにする					
第14回	実習・就職に向けて 2					自身の課題をまとめる					
第15回	子どもと言葉について考える					授業全体の振り返り					
試験	定期試験を実施しない										
教科書	柴崎正行他編『保育内容「言葉」』ミネルヴァ書房				受講生への メッセージ	前期の子どもと言葉を踏まえて授業を進める。子どもの前での実践、授業中での発表等、人前に立つ機会が増える。講義内容をよく聞き、十分な実践準備（考案、制作、評価、反省）を行うこと。					
参考書 等	『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『認定こども園教育保育要領』										